

2学期始業式式辞

皆さんこんにちは。

35日間の夏休みが終了し、今日から2学期が始まります。

まずは、大きな事故なく夏休みを終え、皆さんが元気に登校できたことを、とても嬉しく思います。これは、三中生一人一人が夏休みの目標を立てて、健康と安全に十分に注意しながら、一日一日を有意義に過ごすことができた結果であると考えます。特に、中体連の県大会や東北大会さらには全国大会に、多くの三中生が出場し、活躍しました。吹奏楽部の皆さんは県のコンクールに出場し、すばらしい演奏を披露しました。また、暑い中であっても多くの三中生が部活動に参加し、心身の鍛練と技術の向上を通して、チームメイトとの絆を深めました。三年生は、進路の実現のために高等学校の体験入学や受験勉強に励んだことと思います。

今日は、この夏休みを振り返り、その成果や反省の上に立って、二学期の目標を立ててください。目標を立てるとは、二学期の終わりには、どういう自分に成長したいのか、具体的なイメージを持つこと、その実現に向けて具体的に取り組むアクションプランを掲げることです。

やればできるの三中魂は、具体的な目標を立て、一つ一つ実行していくことで育まれていきます。そして、今日が二学期のその第一歩を踏み出す日なのです。

さて、今年の二学期は、例年とはかなり異なるものとなりました。それは、新型コロナウイルス感染症がかつて例を見ないほど拡大が続いている中での二学期開始となったことです。皆さんには、これまで以上に毎日の検温やマスクの着用、手洗い、換気などの基本的な感染対策の徹底をお願いします。郡山市も、まん延防止等重点措置が適用され、授業時間の短縮等の対応が必要となっています。また、部活動の練習時間も1時間以内となりました。いろいろな制限・制約がある中で、日々の教育活動が少しでも充実したものとなるよう、今こそ英知を絞って乗り越えていかなければなりません。授業時間が短縮となっても、学びの質を落とさないために、課題に集中して取り組むことや1人1台整備されたタブレット端末のより効果的な活用、家庭学習の一層の充実などが求められます。また、部活動も1時間の練習でより効果を上げるため、練習の内容や方法を工夫する必要があります。何より、一人一人が、「災害級のコロナ禍をどう乗り越えるのか」という危機意識を共有することが重要です。今がまさにウィズコロナ時代へのチャレンジであり、我々はウィズコロナの新しい時代を一步一步試行錯誤する開拓者なのです。

三中生一人一人が、「やればできる」の三中魂で力を発揮し、この二学期、学習・文化・スポーツ面でさらに活躍し、進路の実現に一步ずつ近づいてくれることを心から願って、二学期始業式の式辞とします。

令和3年8月25日

郡山市立郡山第三中学校長 安田良一